

「国際教養科の紹介」

国際教養科ではどのようなことが学べ、体験できるのでしょうか？

国際教養科では特に英語と異文化理解を中心に学習し、国際感覚豊かな人材を育成することを目指しています。国際教養科で特に力を入れている取り組み、また、実績を残している活動は次の3つになります。

- ①各種異文化交流活動
- ②各種スピーチコンテストへの参加と入賞
- ③実用英語技能検定

これらの活動内容と活躍した生徒たちからのコメントを紹介します。

①異文化交流活動

国際教養科2年生クラスでは毎年AFS留学生を受け入れて共に学校生活を送っています。昨年度は、インドネシアとマレーシアよりそれぞれ1名の生徒を受け入れました。言葉、文化、生活習慣の異なる国の同じ年齢の高校生と英語や日本語で交流し、共に高校生活を送ることで、お互いに貴重な体験ができたことと思います。なお、これまでも、マレーシア・パナマ・ラトビア・中国などから留学生を受け入れています。また、AFSなどの留学制度を利用して国際教養科在学中に海外留学をする生徒もいます。

今年度は9月より、インドネシアとインドより留学生を迎える予定で、2年生国際教養科クラスにそれぞれ所属します。

国際教養科3年 W.N.さん

私は留学生との交流を通して学校生活や日常生活の中で実際に話す英語の楽しさを感じることができました。自分の伝えたいことを自分の言葉で伝える、また言葉が出てこない時にどのようにして伝えるのかを実際に体験できたことで、コミュニケーションの難しさ、楽しさ、大切さを感じました。また、お互いの国の文化について教え合ったり、お互いの物事の見方や感じ方を共有することで、自分の視野が広がりました。この経験を活かし、世界中のたくさんの人たちと交流することでお互いを理解し、世界をよりよくするために自分にできることを探していきたいです。

②各種スピーチコンテストへの参加と入賞

新潟県主催の英語スピーチコンテストや全国商業高等学校スピーチコンテストなど各種スピーチコンテストで、毎年多くの意欲ある生徒が積極的に出場して上位入賞を果たしています。

R2年度結果	第39回全商英語スピーチコンテスト新潟県大会 スピーチの部 第1位、2位 (新型コロナウイルス感染症拡大のため全国大会は実施されず)
R1年度結果	第38回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト新潟県大会 *それぞれの部第1位は <u>全国大会出場</u> レシテーション(暗唱)の部 第1位、2位、3位 スピーチの部 第1位、2位、3位
H30年度結果	第37回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト新潟県大会 *それぞれの部第1位は <u>全国大会出場</u> レシテーション(暗唱)の部 第1位、2位(2名)、3位 スピーチの部 第1位、2位、3位(2名) 第13回新潟県高校生英語スピーチコンテスト 第7位、8位

国際教養科3年 R.J.さん

私がスピーチコンテストに参加するきっかけになったのは、何か自分の強みにできるような機会を自分で作りなさいと言う母の勧めがあったからです。人前で話すことが大の苦手だった私ですが、自分を変えるきっかけになればいいと思い、挑戦しました。週に2、3回の担当の先生との練習を重ねながら、発音はもちろん話し方の強弱やジェスチャーも適度に取り入れて自分の理想に近づけられるよう細かく意識しました。先生方の勧めで、国際教養科の下級生のクラスでも発表したことにより、初対面の人の前で発表することにも多少慣れて本番はリラックスしたスピーチができたと思います。スピーチコンテストを終えて、たくさんの刺激をもらえました。練習期間はスピーチをなかなか暗記することができなかつたり、時間内にスピーチを終えることができなかつたりと苦労した場面もありましたが、その分得られたものは大きかったです。結果として、コンテストのスピーチ部門で優勝することができたので、このことは私の最大の強みになったと思います。

国際教養科3年 K.A.さん

私はスピーチコンテストに参加して本当に良かったと思っています。理由の1つは、語彙が増え、英文の書き方を学ぶことができたからです。スピーチは話すことがメインだと思っている人が多いと思います。しかし、スピーチで最も重要な部分は伝える内容です。何について自分はどう感じてそれをどうしたいのかという事を英語で話さなければいけません。私はその作業にとっても苦労しました。スピーチ原稿を作成する過程で、担当の先生には英語と日本語の微妙なニュアンスの違いを何度も指摘されました。同じ単語を繰り返し使わないように英英辞典を使って必死に類義語を調べた時期もありました。その苦労のお陰か、以前よりも語彙力がつき、コミュニケーションで使える英語を身につけることができたと思います。授業で学んだ英語をツールとして使ってみると、新たな発見がありとても面白いということを経験を通して学ぶことができた。もし、また機会があればどんどん挑戦していきたいと思っています。

③ 実用英語技能検定

生徒全員が実用英語技能検定2級以上の取得を目指します。準2級は高校1年の内に9割以上の生徒が、2級は5割以上の生徒が卒業までに取得しています。平成21、22、24、29、令和2、3年度には準1級を取得する生徒がいました。

国際教養科3年 H.S.さん 「英検準1級合格までの過程と、そこから学んだこと」

I would like to tell you about the experiences I had in passing the Eiken Pre-1 grade test. I have loved learning English so much since I was a child, so it is always enjoyable for me to study it.

Now, I will tell you about how I studied English to pass the Eiken Pre-1 grade test. First, it took me a lot of time to increase my English vocabulary. I read my vocabulary book repeatedly, which led to my success. At first, I could hardly memorize the words. After having studied so hard, I was able to get an almost perfect score on the vocabulary section when I took the test. I think that the same is true of the listening section. I made it a rule to listen to English news every day. However as I had club activities, I did not have enough time to study for the test. So, I made good use of my spare time by studying. For example, I studied in any short free time, like break time at school or after school. Thanks to my great effort, I finally passed the Eiken test. I believe that it depends on your effort whether you succeed or not, regardless of how your lifestyle is. I hope this experience will help me during university entrance exams. I will do my best, and believe in my English ability.



ALTとの授業



各種スピーチコンテストの参加・入賞



留学生との高校生活



国際交流活動への参加